

首里城研究の現在地



①令和の首里城正殿　②瓦の設置風景　（国営沖縄記念公園事務所 提供）

2026.

12.19（土）

入場無料

14:00～16:00

（開場 13:30）

会　場　3階　講堂

受　付　当日先着（定員200席）

お問合せ　098 - 941-8200

主　催　沖縄県立博物館・美術館

※駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。
※席数に限りがあり、ご入場いただけない場合がございます。
※会場内は空調の影響で寒くなる場合があります。

首里城は、琉球王国の政治・外交・文化の中心として、また琉球・沖縄の歴史を象徴する存在として役割を果たしてきました。本講座では、首里城の歴史的意義を振り返るとともに、令和の復元事業を通じて明らかになった新たな知見を紹介します。さらに、文化財の復元や保存・活用の視点から、首里城の歴史と文化を未来へ継承していく意義について考えていきます。

【講師】安里　進（あさと　すすむ）氏　沖縄県立芸術大学 名誉教授、元沖縄県立博物館・美術館 館長

1947年、沖縄県那覇市生まれ。大阪府教育委員会、浦添市文化部長、沖縄県立芸術大学教授などを経て、2013年より沖縄県立博物館・美術館館長を務める。専攻は考古学・琉球史。
主な著作に「天理図書館所蔵の貝摺奉行所文書について」『ビブリア』第164号2025年、共著『古地図で楽しむ首里・那覇』（風媒社、2022年）などがある。

【講師】田名真之（だな　まさゆき）氏　元沖縄県立博物館・美術館 館長

1950年、沖縄県那覇市生まれ。那覇市市民文化部歴史資料室室長、沖縄県立芸術大学教授、沖縄国際大学教授を経て、2016年から沖縄県立博物館・美術館館長を務める。専門は琉球史。
主な著作に『沖縄近世史の諸相』（ひるぎ社、2012年）、共著『琉球文学大系　琉球関係史料集　球陽（上・下）』（ゆまに書房、2023年～2024年）などがある。

【進行】園原　謙（そのはら　けん）沖縄県立博物館・美術館 館長

1958年、沖縄県国頭村生まれ。沖縄県教育庁文化課専門員、沖縄県立博物館学芸員、元沖縄県立博物館・美術館副参事兼博物館班長、沖縄県文化振興会事務局長を経て、現職。主な著作に「沖縄から発信する「平和博物館」づくり」（『日本の科学者』第61巻9号、2026年）、「琉球王国時代の継ぎ棹三線の技術について」（『沖縄県立博物館・美術館紀要』第13号、2020年）などがある。